

○有料道路パトロール実施要領

〔昭和49年4月2日
制 定〕

(目的)

第1条 道路公社が、管理する道路の機能保全と円滑な交通を確保するため、常時道路をパトロールし道路の管理に万全を期することを目的とする。

(道路パトロールの委託)

第2条 道路のパトロールは、委託により行うものとする。

(パトロールの実施)

第3条 パトロールは、監理区域を1日2回以上行い特に台風豪雨等の異常気象のときは、パトロールを強化するものとする。

2 パトロールは、次の各号に掲げるところにより実施し、路面、路側部、構造物及び付属物の損傷の誘因となる事象の発見に努めるものとする。

- (1) 道路工事、占用工事等の施行状況の指導監督に留意する。
- (2) 道路の維持修繕の指導ならびに督励をする。
- (3) 道路の不法占用、不正使用の監視、特に道路隣接地における道路への影響に留意する。
- (4) 交通の運行状況の把握に努める。
- (5) 災害その他道路、交通及び沿道住民に危険を与えるものと思われる場合または緊急事故発見時においては、必要に応じて通行規制等の応急措置を講ずるとともに、速やかに道路課長（以下「課長」という。）に報告するものとする。

3 パトロールの実施に当たっては、別表1に定めるパトロールの一般的技術基準に基づいて行うものとする。

(パトロールの種類)

第4条 パトロールの種類は、次の各号に定めるとおりとする。

- (1) 通常パトロール

通常パトロールは、路面、路肩、構造物の外観、交通安全施設、道路上の工事などの実施状況を把握するためのもので毎日行うものとする。

- (2) 夜間パトロール

夜間パトロールは、特に夜間道路上の照明施設およびその他交通安全施設における状況を把握するために行うもので随時行うものとする。

(3) 定期点検

定期点検は、舗装、橋梁、擁壁等の構造物、照明施設、防護柵、道路標識等、道路附属物の細部について状況を把握するために行うもので年1回以上行うものとする。

(4) 異常時のパトロール

台風、豪雨、地震等異常天然現象に際して被害が予想される箇所を重点的に行うもので随時行うものとする。

(報告及び連絡方法)

第5条 課長は、第3条第2項(5)の報告をうけた場合は速やかに別表2により連絡するものとする。

(パトロール日誌)

第6条 パトロール員は、パトロールの状況を日誌(様式1号)に記載し、課長に報告するものとする。

(月報)

第7条 課長は、前月末現在において、パトロール実施結果を、パトロール実施結果報告(様式2号)により翌月5日までに理事長に報告するものとする。

附 則

この要領は、平成16年4月1日から適用する。

附 則

この要領は、平成24年6月28日から施行する。

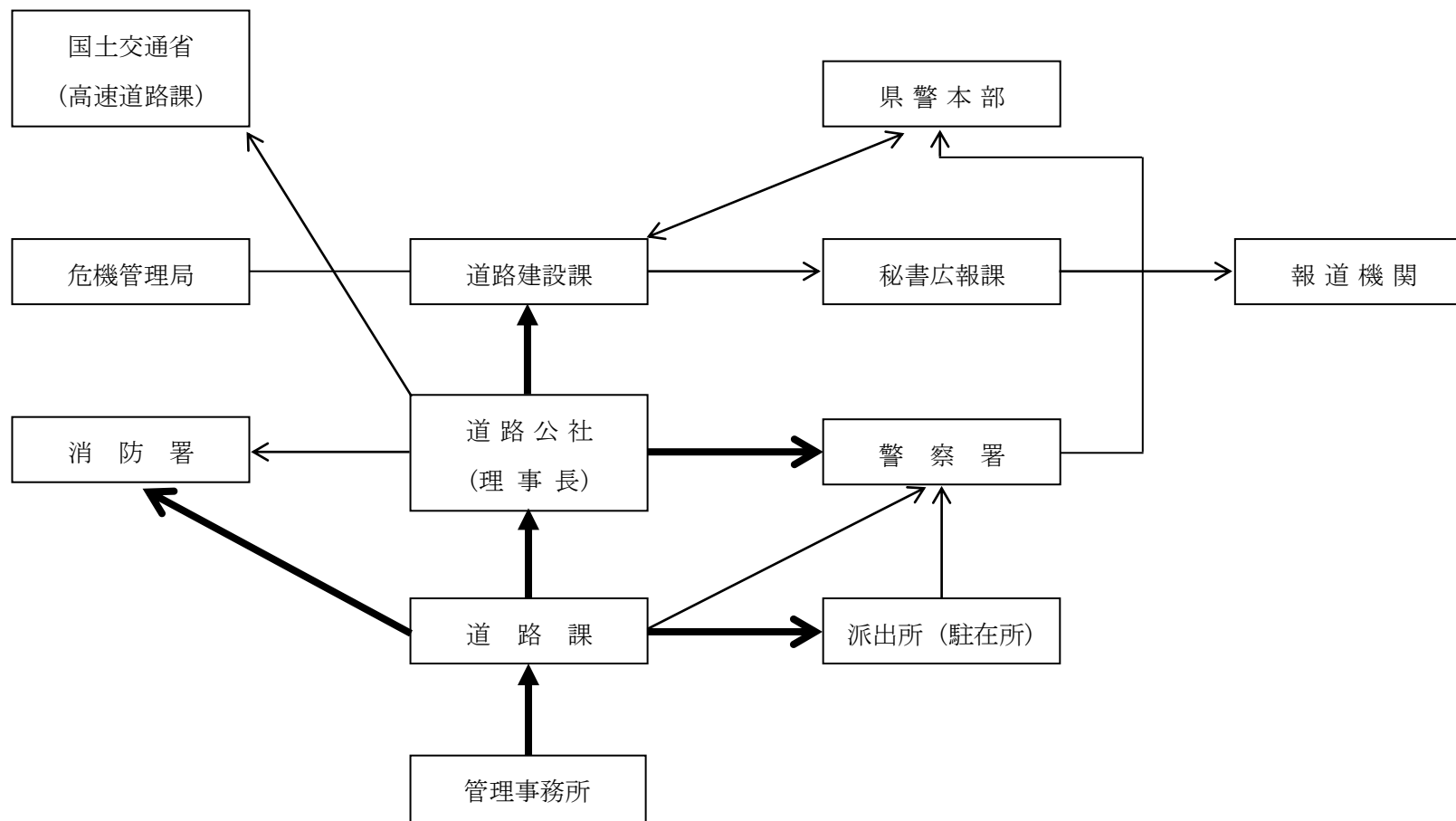
別表 1

パトロールの一般的技術基準

舗装路面	<p>1 走行調査は、対象区間を自動車で行き、その乗心地程度をみる。</p> <p>2 観察調査は、対象区間を踏査し、ひびわれの発生およびその進行状態、波くぼみの発生はくり、摩耗、老化状況や構造物取付の段差等路面の破壊状況の調査を行う。</p> <p>3 海岸部の砂の堆積状況をみる。</p>
路 肩	路肩部のクラック、沈下その他損傷の有無、塵芥、土砂等の障害物の有無または、雑草の繁茂状況
法面、擁壁等	<p>1 法面、法面のクラックおよび崩落等の異常の有無、地表水、地下水の流出状況とそれによる浸水および芝等の生育状態と法面保護工、排水工の施設の状況</p> <p>2 擁壁、護岸、本体のクラック目地切れはみ出し、滑動等異常および背面の滞水の状況</p> <p>3 根固め河床、海岸の地盤の洗堀堆積の状況</p>
排水施設	<p>函渠、側溝、柵、蓋等の本体および接続部の破損の有無、土砂の堆積並びに、灌水溢水の有無の確認</p> <p>なお、沿道の利用状況が変化した場合は排水施設の流量を再検討する。</p>
橋 梁	通常パトロールは、橋面、舗装、高欄の損傷、橋と道路との取合部の沈下その他突発的に生ずる異常、定期点検では床版床組の亀裂、伸縮装置の損傷、橋の振動、衝撃の異常、躯体の変形と河床の変動と洗堀状況
道路標識等	道路標識、視線誘導標、区画線等はよごれおよび損傷の有無、支柱の埋込状況、隠ぺい物、板取付部のゆるみ、ピンの切損、照明器具の損傷の有無
防 護 柵	防護柵の外観をパトロール、異常の有無を確かめるほか支柱の支持、各部の固定状態およびガードケーブルのロープのたるみ程度をみる。
照明施設	道路照明の点灯状況、灯具の取り付け、ポールの損傷等は月1回以上、塗装のはくり、ハンドホール内の異常受電盤の状況は6ヶ月に1回以上定期的に点検を行う。

樹 木	<p>道路敷地内及び沿道修景樹木については、次の点を留意する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 強風後の倒木、枝葉損傷及び散乱 2 病虫害の発生、渇水時期の灌水 3 樹木剪定の時期、芝生の雑草及び樹木施肥の有無
道 路 敷 の 管 理	道路敷での物品の販売等の不法使用を監視し、禁止または撤去を命ずる。
道 路 上 の 障 害 物	通常パトロールにおいて、路面上の障害物は適時除去し、駐車禁止区域内の駐車を常時監視し排除する。
道 路 の 火 災	<p>冬期たばこによる火災は、特に注意するとともに保安林の火災についても早期発見に努める。</p> <p>なお、火災が発見された場合は早急に適切な措置をとるものとする。</p>
応 急 処 理	<p>異常天然現象による災害や交通事故による道路の損傷のため、正常な交通を確保し得ない場合には状況に応じ危険防止、増破防止のための応急工事を行うとともにすみやかに通行の禁止または、制限の措置をとり適切な標示施設と保安施設を設けること。</p>

別表 2



(注) 1 国土交通省への報告は必要な時のみ行うこと。

2 消防署への連絡は、火災・救急活動等必要な時のみ行うこと。

様式1

有料道路パトロール日誌

平成 年 月 日			天候		最高 気温 ℃ 最低 気温 ℃		課長		主幹		
パトロール員氏名					印 使用車両名		出発 時 分		帰着		
時刻	地 名			料程	工種	破損障 害状況	対策	確認			
	郡市	町村	字								
道路パトロール日誌										道路課長	
略 図	パトロール日誌記載注意事項										
	1 工種 舗装道 側溝、路肩、法面（穴、クラック、亀裂不陸）（溢水、漏水） （穴、勾配）（崩土）										
	橋梁 構造物、交通安全施設、照明施設、街路樹（ジョイント、高欄、橋面） （擁壁）（防護柵、標識）										
	維持修繕工事、占用工事、不法占用不正使用、災害危険箇所等とする。										
	2 対策 パトロールの措置した事項を記載のこと。										
	3 確認 過去のパトロールにおける指示、命令事項に対する措置確認した場合に記載										
備 考	4 時刻 パトロール事項の発見の時刻を記載する。										
	5 略図 災害等発生の際の状況を記載する。										

[illegible]

- 1 毎日のパトロール結果を記入報告する必要はない。
- 2 特に報告を必要とする発生事項のみ記入のこと。